ULVAC

証券コード:6728

第112期　事業報告書 | 2015年7月1日～2016年6月30日

ULVAC REPORT 2016

代表取締役執行役員社長 小日向久治

中期経営計画2年目も計画を上回る実績 受注は前期比22%増加

「一体化の拡大と深化」で更なる効率アップを図ってまいります。

2016年6月期の振り返り

過去最高益を達成

当社グループを取り巻くエレクトロニクス市場においては、スマートフォンの高機能化・薄型化に向けた動きは継続するも、販売台数の伸びが低下しているため、電子部品メーカーの設備投資は総じて慎重になってまいりました。一方、液晶ディスプレイ製造装置の設備投資においては、積極的な投資が集中いたしました。さらに、有機EL（OLED）投資に向けた動きも活発化し、前年度を上回る好調な推移となりました。

このような事業環境の中、2016年6月期の連結業績は、受注高が2,236億円（前期比22%増）、売上高が1,924億円（前期比7%増）となりました。損益については、営業利益は179億円（前期比60%増）、経常利益は184億円（前期比47%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は167億円（前期比88%増）となり、いずれも期初計画を上回り過去最高益となりました。

こうした結果を残すとともに財務体質の健全化も推進しており、2015年7月には残存するA種種類株式の全部（元本100億円）について取得・消却することができました。バランスシートは全体的にスリム化してきていますが、今後も自己資本比率をさらに高め、

連結業績の推移 （単位：億円）

	15／6期 実績	16／6期 実績	前期比
受注高	1,827	2,236	409 (+22%)
売上高	1,792	1,924	133 (+7%)
営業利益	111	179	67 (+60%)
率	6.2%	9.3%	
経常利益	125	184	59 (+47%)
率	7.0%	9.5%	
親会社株主に帰属する当期純利益	89	167	78 (+88%)

事業環境の変化に対応できる企業を目指してまいります。なお、今回の業績を踏まえ、2016年6月期の配当につきましては前年度から20円増配し、1株当たり30円の配当を実施いたしました。

「フロントローディング」により利益体質を改善し、「グループ一体化」の推進で利益の最大化を図る

当社グループが保有する過去のデータや技術仕様など、これまでに培った英知を結集し、仕事の初期段階で徹底的に対策を講じてトラブルのない安定したものづくりを実現するのが、「フロントローディング」です。フロントローディングで品質を作り込んだ結果、追加原価の発生を防ぎ、利益体質の改善が大きく進展しました。また、2016年6月期は「グループ一体化」の初年度とし、生産部門を中心に効率的な経営を推進してまいりました。グループの各会社に会社の枠を越えたグループ意識が醸成されたことにより、グループ生産体制を一体化することができたと考えております。これにより利益を最大化しつつ、高度な技術を社内に蓄積できる組織づくりが進捗したことも、大きな成果です。

2017年6月期の見通しと中期経営計画の進捗

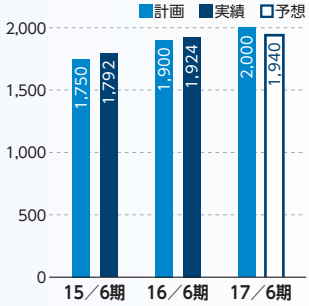
売上高、営業利益ともに、好調だった前期を上回る予想

2017年6月期は、3D-NANDや不揮発性メモリー、高機能電子デバイス、パワー半導体、高密度実装など半導体・電子部品市場の伸びを予測しています。FPD市場では、有機EL向けの投資が進む一方、旺盛だった大型テレビ向け投資は前期の反動から減速する見通しです。当社グループにおいては、1,000億円を超える期首受注残高により、引き続き安定した売上を見込んでおります。

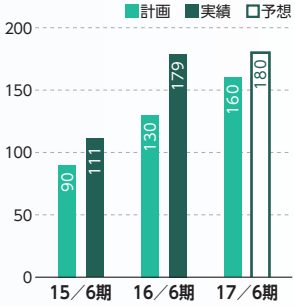
また、昨今の円高による価格競争の激化により収益環境は厳しさを増すと考えております。このような環境下においても、これまで取組んできた利益創出力を発揮し、営業利益での最高益を更新するべく活動してまいります。

今期の方針は「一体化の拡大と深化」です。一体化の拡大とは、生産部門のみならず開発・営業・本社部門などあらゆる部門が一体化に取り組み、グループとしての効率アップを追求して成果を生み出すことです。また、一体化の深化とは、グループ会社の英知を結集し、付加価値を作り込み世界に発信することです。高付加価値で競争力の高いラインアップを構築してまいります。

売上高(連結)(単位:億円)



営業利益(連結)(単位:億円)



※計画は2014年8月公表値

株主の皆様へのメッセージ

これまで当社は苦境に直面しながらもそれを乗り越え、真空技術のリーディンカンパニーとして成長してまいりました。創業から現在まで、当社が存続してこられたのは、株主の皆様をはじめとするステークホルダーの方々のおかげです。改めて心より感謝を申し上げます。創業以来、「真空技術で産業と科学に貢献する」という企業理念のもと、技術開発を重視してまいりました。当社の強みは、新規技術を多く保有していること、およびこれらを組合せるなどして、お客様のニーズに適合するよう、技術のカスタマイズを行うのを得意としているところでしょう。ますます重要となる「省エネ・創エネ」と「高度情報化社会」の進展は、まさにアルバックが活躍する時代の到来です。これからも多くの産業分野において、最先端技術で未来を切り拓いてまいります。今後とも皆様とのコミュニケーションをさらに充実させ、ご理解をいただきながら、共に歩んでいければ幸いでございます。

事業別概況

真空機器事業

FPD及びPV製造装置

FPD（フラットパネルディスプレイ）製造装置は、モバイル端末向け中小型液晶ディスプレイ製造装置やテレビ向け大型液晶ディスプレイ製造装置の投資が集中、有機EL製造装置への投資も加わり、受注高、売上高ともに前期を大幅に上回りました。

コンポーネント

FPD、半導体、電子部品業界や自動車関連向けを中心に堅調に推移いたしました。期の後半に海外でのクライオポンプの大型受注もあり、受注高は、前期を上回りましたが、売上高は、ほぼ前期並みとなりました。

半導体及び電子部品製造装置

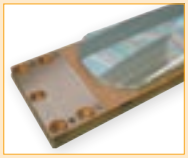
半導体関連は、メモリ用スパッタリング装置や自然酸化膜除去装置、電子部品関連は、モバイル機器向け高機能デバイス製造装置を中心に受注高、売上高を計上いたしましたが、スマートフォン販売台数の伸びの低下に伴う電子部品の減産やDRAM向け設備投資減少の影響、不揮発性メモリ製造装置の一時的な投資先延ばしもあり、前期を下回りました。

一般産業用装置

自動車部品製造用真空熱処理炉などを中心に、受注高、売上高を計上いたしましたが、中国などにおける景気減速の影響を受け、ともに前期を下回りました。

真空応用事業

材料

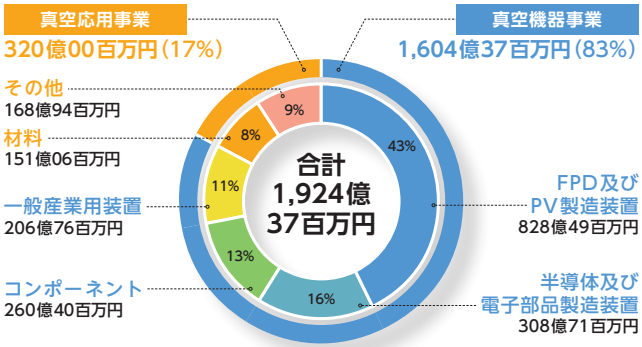


主に韓国などの顧客から液晶ディスプレイ用スパッタリングターゲット材料を受注し、前期を上回る受注高、売上高を計上いたしました。

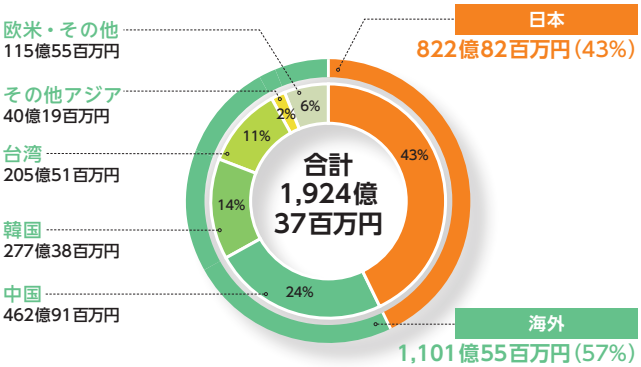
その他

マスクブランクス関連は、スマートフォン向け高精細中小型パネルや車載半導体需要の増加を受け、また、分析機器関連は、アジア向けを中心に、それぞれ引き続き堅調に推移いたしました。

事業別売上高



地域別売上高



2015.9

微量精密撹拌機を開発

96ウェルプレートを精密に撹拌

バイオ系の実験で汎用的に使用される96ウェルプレート用の微量精密撹拌機「MICROPADDLE」を開発、販売を開始しました。溶液量は少なく、同時処理数は多く、精密に撹拌することができます。今後、医学・薬学・農学系の大学・研究所での基礎研究や製薬企業・診断薬企業等での製品や開発品の評価の効率化が図れます。

ドライポンプ省電力化アタッチメントを開発

大幅な消費電力削減を実現

ドライ真空ポンプに接続することで大幅な消費電力削減を実現するドライポンプ省電力化アタッチメント「ECO-SHOCK ES4A」を開発、販売を開始しました。大型真空装置の仕込み取出し室のように頻繁に排気する用途やシールガスを多く使用する真空ポンプで特に大きな効果を発揮します。

厳しい環境下でも長寿命で高精度を維持可能

電離真空計マルチイオンゲージを開発

真空計にとって厳しい環境下であっても長寿命で高精度を維持可能なトランスデューサタイプの電離真空計「GTRANシリーズ マルチイオンゲージST2」を開発、販売を開始しました。厳しい環境でもより長い時間（当社比30倍以上）、精度よく測定（±10%）することができるようになりました。

アルバックこの一年
2015 ULVAC Year in Review

2015.12

「ライフイノベーションアワード2015（AOMORI）」を受賞

アルバック東北は、青森県より「ライフイノベーションアワード2015（AOMORI）」を「医工連携」部門で受賞しました。地元の八戸市民病院などの要望に応えるため、簡易な方法で医療機器の微弱な漏電を測定できる携帯型電源ケーブルチェッカーの開発に成功しました。この受賞を足掛かりとして新規事業分野への更なる前進を進めてまいります。

「1億ドル輸出の塔」受賞

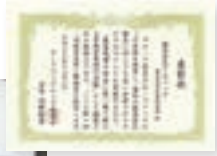
韓国貿易協会・主催、韓国産業通商・後援

ULVAC KOREAは、輸出額累計が1億ドルを超えた企業に贈られる「1億ドル輸出の塔」を受賞しました。韓国では毎年12月7日を「韓国貿易の日」として表彰しており、朴槿恵大統領が参加するなど、盛大に行われました。

「向殿安全賞」奨励賞を受賞

製品安全活動への取り組みが高く評価

日本のものづくり産業の安全の向上と進歩・普及に貢献した個人や団体を表彰する賞である「向殿安全賞」を受賞しました。今回の受賞は、グループ全体で35名が安全性の妥当性確認、判断に必要とされる能力を有するセーフティアセッサ資格を保有し、安全設計基準をもとに現場目線でリスクアセスメントを実施し、製品安全に貢献したことによるものです。



特集：

IoTを支えるアルバック

豊かで安全な暮らしの実現に向けて

アルバックは、「真空技術」を探究し、未来が求める新しい価値を創造し、安全で豊かな社会の形成に貢献します。また、その強みを活かし、9つの領域を「重要領域」として定め開発に注力していきます。

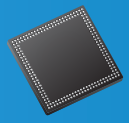
スマートフォンの
進化を支える
アルバックの真空技術

スパッタリング装置
SMDシリーズ

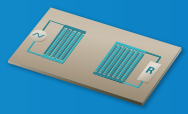
※ IoT（Internet of Things）とは：コンピューターなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在するさまざまな物体（モノ）に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うことです。モノやヒトや場所・環境も含めたすべてがつながるIoTは、企業活動や私たちの日常にも大きな変化をもたらします。健康・医療や交通、農業など、さまざまな領域の課題を解決し、イノベーションを創出する手段として期待されています。その実現のためには、センサーの小型化・省電力化、ネットワークの多様化、クラウドの普及などテクノロジーの進化が不可欠です。

The Internet of Things IoT

高精細ディスプレイ
液晶／有機EL／タッチパネル／
フレキシブルディスプレイ

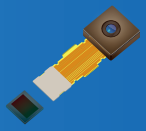


半導体集積回路
高密度実装／フラッシュメモリー／
モバイルDRAM／小電力CPU



高速通信モジュール
SAWデバイス／高周波デバイス

バッテリー
薄膜リチウム二次電池



センサー
イメージセンサー／
ジャイロセンサーなど

IoTの進歩を支えるULVACのソリューション

有機ELディスプレイ
製造装置ZELDAシリーズ

スパッタリング装置
ENTRONシリーズ

スパッタリング装置
SMEシリーズ

電磁波シールド用スパッタリング装置
SDHシリーズ

スパッタリングターゲット

連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

（単位：億円）

科　目	当連結会計年度 2016年6月30日現在	前連結会計年度 2015年6月30日現在
資産の部		
流動資産	1,436	1,579
現金及び預金	457	627
受取手形及び売掛金	580	567
たな卸資産	295	321
繰延税金資産	47	16
その他	64	53
貸倒引当金	△6	△5
固定資産	759	844
有形固定資産	604	657
建物及び構築物	334	376
機械装置及び運搬具	137	155
その他	133	125
無形固定資産	39	46
投資その他の資産	117	142
投資有価証券	40	47
繰延税金資産	19	18
その他	57	77
資産合計	2,196	2,423

科　目	当連結会計年度 2016年6月30日現在	前連結会計年度 2015年6月30日現在
負債の部		
流動負債	1,062	1,273
支払手形及び買掛金	353	338
短期借入金	395	628
その他	314	306
固定負債	354	301
長期借入金	232	198
繰延税金負債	14	16
その他	107	87
負債合計	1,415	1,574
純資産の部		
株主資本	763	719
その他の包括利益累計額	△34	75
非支配株主持分	51	56
純資産合計	780	849
負債純資産合計	2,196	2,423

※記載金額は億円未満を四捨五入して表示しております。

連結損益計算書（要旨）

（単位：億円）

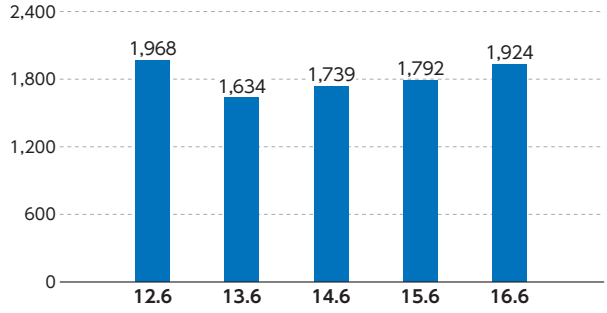
科　目	当連結会計年度 2015年7月1日から 2016年6月30日まで	前連結会計年度 2014年7月1日から 2015年6月30日まで
売上高	1,924	1,792
売上原価	1,413	1,357
売上総利益	511	435
販売費及び一般管理費	333	323
営業利益	179	111
営業外収益	26	38
営業外費用	21	25
経常利益	184	125
特別利益	3	4
特別損失	9	2
税金等調整前当期純利益	178	127
法人税、住民税及び事業税	39	32
法人税等調整額	△34	0
当期純利益	173	95
非支配株主に帰属する当期純利益	6	6
親会社株主に帰属する当期純利益	167	89

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

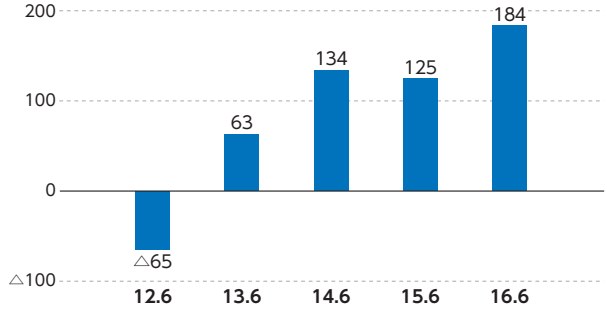
（単位：億円）

科　目	当連結会計年度 2015年7月1日から 2016年6月30日まで	前連結会計年度 2014年7月1日から 2015年6月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	237	220
投資活動による キャッシュ・フロー	△56	△41
財務活動による キャッシュ・フロー	△324	△149
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△25	16
現金及び現金同等物の 増減額	△168	47
現金及び現金同等物の 期首残高	617	570
現金及び現金同等物の 期末残高	449	617

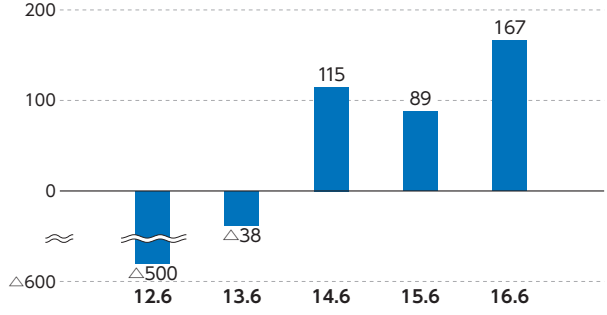
売上高（単位：億円）



経常利益（単位：億円）



親会社株主に帰属する当期純利益（単位：億円）



単体財務諸表

※記載金額は億円未満を四捨五入して表示しております。

単体貸借対照表（要旨）

（単位：億円）

科　目	当事業年度 2016年6月30日現在	前事業年度 2015年6月30日現在
資産の部		
流動資産	848	871
固定資産	653	703
有形固定資産	354	373
無形固定資産	33	39
投資その他の資産	266	292
資産合計	1,501	1,574
負債の部		
流動負債	794	894
固定負債	239	208
長期借入金	220	181
退職給付引当金	11	15
その他	8	13
負債合計	1,033	1,103
純資産の部		
株主資本	467	465
評価・換算差額等	1	7
純資産合計	468	472
負債純資産合計	1,501	1,574

単体損益計算書（要旨）

（単位：億円）

科　目	当事業年度 2015年7月1日から 2016年6月30日まで	前事業年度 2014年7月1日から 2015年6月30日まで
売上高	1,103	865
売上原価	841	681
売上総利益	263	184
販売費及び一般管理費	179	152
営業利益	84	32
営業外収益	47	54
営業外費用	19	19
経常利益	112	66
特別利益	1	4
特別損失	13	2
税引前当期純利益	99	69
法人税、住民税及び事業税	9	5
法人税等調整額	△34	△1
当期純利益	125	65

会社データ／株式の状況

会社概要 2016年6月30日現在

商　　号	株式会社アルバック ULVAC, Inc.
商　　標	ULVAC
本　　社	神奈川県茅ヶ崎市萩園2500番地
設　　立	1952年8月23日
資 本 金	20,873,042,500円
従業員数	1,148名(連結5,886名)

役　員 2016年9月29日現在

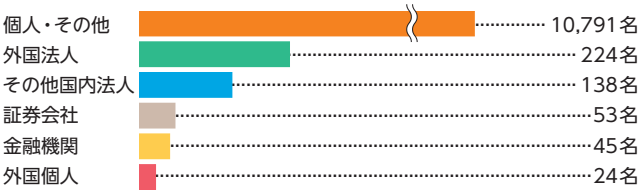
代表取締役執行役員社長	小日向久治
取締役執行役員副社長	坊　昭範
取締役専務執行役員	本吉　光
取締役専務執行役員	岩下　節生
取締役専務執行役員	藤山　潤樹
取締役常務執行役員	小田木秀幸
取締役（社外）	御林　彰
取締役（社外）	内田　憲男
取締役（社外）	石田　耕三
監査役	髙橋　誠一
監査役	伊藤　誠
監査役（社外）	浅田　千秋
監査役（社外）	大塚　一実
専務執行役員	末代　政輔
常務執行役員	白　忠烈
執行役員	平野　裕之
執行役員	齋藤　一也
執行役員	梅田　彰
執行役員	松本　亮
執行役員	大日向陽一
執行役員	柳澤　清和
執行役員	佐藤　重光
執行役員	蔡　有哲

株式の状況 2016年6月30日現在

発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式の総数	49,355,938株
株主数	11,276名

所有者別株主数

合計11,276名



自己株式:1名

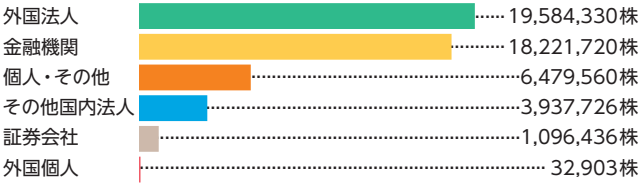
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,703	7.50
TAIYO FUND, L. P.	3,244	6.57
日本生命保険相互会社	3,242	6.57
株式会社みずほ銀行	1,916	3.88
株式会社三井住友銀行	1,864	3.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,775	3.60
TAIYO HANEI FUND, L. P.	1,225	2.48
星光ビル管理株式会社	1,006	2.04
株式会社三菱東京UFJ銀行	910	1.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	902	1.83

(注)持株比率は自己株式(3,263株)を控除して計算しております。

所有者別株式数

合計49,355,938株



自己株式:3,263株

株主メモ

事業年度	7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	9月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当　6月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	TEL.0120-782-031（フリーダイヤル） 受付時間 9:00～17:00（土・日・祝祭日を除く）

住所変更など諸手続のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社等にお申し出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

三井住友信託銀行株式会社への
手続用紙〈住所変更・買取請求・配当金振込指定など〉のご請求
ホームページアドレス
http://www.smtb.jp/personal/agency/

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

配当金のお受取り方法について

配当金を配当金領収証でお受取りの株主様には、確実に配当金をお受取りいただける預金口座や証券会社の口座への振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問合せください。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや技術情報など、
当社をご理解いただくためのさまざまな情報を提供しております。

https://www.ulvac.co.jp/

アルバック　検索

ULVAC　株式会社アルバック

本社・工場　〒253-8543　神奈川県茅ヶ崎市萩園2500　TEL.0467-89-2033

森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-cho.org